

7th Negative Strand Virus-Japan Symposium

Okinawa /2018.1.15(Mon)-1.17(Wed)

Program

Monday / January 15

15:00-15:10 Opening Remarks／河岡 義裕【東京大学医科学研究所】

●動物モデルを用いたウイルスの性状解析●

座長：竹内 薫／筑波大学

●15:10-15:25 「ハムスターにおけるインフルエンザウイルスの飛沫伝播解析」

岩附 研子【東京大学医科学研究所】

●15:25-15:40 「中国で発生した高病原性 H7N9 鳥インフルエンザウイルスの性状解析」

今井 正樹【東京大学医科学研究所】

●15:40-15:55 「センダイウイルスのマウスでの病原性」

酒井 宏治【国立感染症研究所】

●ウイルス感染と宿主応答の分子基盤 I ●

座長：高田 礼人／北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

●15:55-16:10 「DNA センサーによる新しいインフルエンザウイルス認識機構の解析」

森山 美優【東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター】 審査対象者

●16:10-16:25 「2光子励起顕微鏡を用いたインフルエンザウイルス感染マウスにおける肺の生体イメージングの試み」

植木 紘史【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●16:25-16:40 「外気温がウイルス特異的な免疫応答に与える影響の解析」

一戸 猛志【東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター】

●16:40-16:50 Coffee Break

●ポスター発表／第1部●

●16:50-16:53「2009~2015年に日本で分離されたA(H1N1)pdm09ウイルスの病原性比較」

三竹 博道【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●16:53-16:56 「Understanding influenza A virus budding by direct visualization of viral ribonucleoproteins at the plasma membrane」

I-Hsuan Jessica Wang【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●16:56-16:59 「A型インフルエンザウイルス蛋白質PA-Xの蛋白質発現抑制活性に必要な宿主蛋白質の同定とその機能解析」

大石 康平【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●16:59-17:02 「インドネシアにおける高病原性H5N1鳥インフルエンザウイルスの解析」

今村 剛朗【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●17:02-17:05 「インフルエンザウイルス性肺炎病巣における好中球の役割」

仲尾 朋美【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●17:05-17:08 「季節性インフルエンザウイルスがヒト気管上皮細胞に効率よく感染するためにはヘマグルチニンとノイラミニダーゼの機能的バランスが重要である」

高田 光輔【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●17:08-17:11 「H1N1pdm09 インフルエンザウイルスの HA の K166Q アミノ酸変異の出現についての系統樹を用いた解析」

十菱 大介【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●17:11-17:14 「インフルエンザに繰り返し罹患した小児の全ゲノムシーケンス解析」

松澤 幸正【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●17:14-17:17 「日本国内において分離された B 型インフルエンザウイルスの性状解析」

加藤 紗理【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●17:17-17:20 「電子顕微鏡を用いた A 型インフルエンザウイルス粒子内の NS 分節配置の解析」

氏江 美智子【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●17:20-17:23 「インフルエンザウイルス HA 蛋白質の Head 領域の一部欠損変異が抗原性に及ぼす影響」

濱端 大貴【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●17:23-17:26 「Pre-mRNA processing factor 8 及び ribosomal protein S14 の A 型インフルエンザウイルス増殖過程における役割の解析」

郭 力禎【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●17:26-17:29 「A 型インフルエンザウイルスの増殖環における eEF1G の機能解析」

三枚橋 秀平【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●17:29-18:30 ポスター閲覧 & Coffee Break

●18:30 研究室紹介 etc

●18:50 合同懇談会 (2F: コーラルイースト)

Tuesday / January 16

●フィロウイルス蛋白質の機能解析・ウイルス感染における宿主因子の役割●

座長：野田 岳志／京都大学ウイルス・再生医科学研究所 微細構造

●9:00-9:15「トビイロホオヒゲコウモリのゲノムに見つかった内在性フィロウイルス VP35 様配列の機能解析」

近藤 達成【北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター】 審査対象者

●9:15-9:30「エボラウイルス VP40 タンパク質 YIGL 配列の役割解析」

浦田 秀造【長崎大学熱帯医学研究所】

●9:30-9:45「エボラウイルスエンベロープへのホスファチジルセリン集積に関与する宿主 ス克蘭ブラーゼの同定」

南保 明日香【北海道大学大学院】

●インフルエンザウイルス感染における NA の役割・薬剤の併用効果●

座長：村木 靖／岩手医科大学

●9:45-10:00「A 型インフルエンザウイルスのノイラミニダーゼ活性を阻害しない抗 NA ヒトモノクローナル抗体による感染防御機構の解析」

安原 敦洋【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●10:00-10:15「H7N9 トリインフルエンザウイルス NA の酸性安定性」

田本 千尋【静岡県立大学大学院】 審査対象者

●10:15-10:30 「ヌードマウスにおけるインフルエンザ感染と抗インフルエンザ薬の併用効果」

木曾 真紀【東京大学医科学研究所】

●10:30-10:45 Coffee Break

●ウイルスの適応進化・ウイルス感染における宿主因子の役割●

座長：中屋 隆明／京都府立医科大学

●10:45-11:00 「核移行はボルナウイルスの適応進化の原動力である」

小森園 亮【京都大学ウイルス・再生医科学研究所】 審査対象者

●11:00-11:15 「RNA 編集酵素 ADAR2 はボルナ病ウイルス感染に関与する」

柳井 真瑚【京都大学ウイルス・再生医科学研究所】 審査対象者

●11:15-11:30 「ムンプスウイルス感染における R2TP complex の役割」

加藤 大志【国立感染症研究所】

●11:30-11:45 「ヒト SLAM 遺伝子のモルビリウイルスからの感染回避進化と麻疹ウイルス H 遺伝子のヒト SLAM への特化進化」

竹田 誠【国立感染症研究所】

●新規ウイルスベクター・インフルエンザワクチンの開発●

座長：朝長 啓造／京都大学ウイルス・再生医科学研究所

●11:45-12:00 「光制御性麻疹ウイルスと狂犬病ウイルスの作製」

田原 舞乃【国立感染症研究所】

●12:00-12:15 「Identification of novel adjuvants for influenza vaccine from food additives in mice」

Huapeng Feng【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●12:15-12:30 「細胞培養インフルエンザワクチン実用化への取り組み」

信澤 枝里【国立感染症研究所】

●12:30-13:40 Lunch

●ポスター発表／第2部●

●13:50-13:53 「分化条件下における鳥インフルエンザウイルスのヒト呼吸器上皮由来細胞株への感染様式について」

大道寺 智【京都府立医科大学】

●13:53-13:56 「ニューカッスル病ウイルスを基礎としたウイルスベクターの構築」

西岡 敬介【京都府立医科大学】

●13:56-13:59 「エボラウイルスの NP-RNA 複合体構造」

杉田 征彦【OIST】 審査対象者

●13:59-14:02 「タンジェンシャルフローろ過を用いたボルナウイルスベクター濃縮・精製
法開発の試み」

角家 洋次【京都大学ウイルス・再生医科学研究所】 審査対象者

●14:02-14:05 「抗ウイルス免疫応答におけるギャップ結合の役割」

千野 翔太【東京薬科大学大学院】 審査対象者

●14:05-14:08 「ヘマグルチニンを標的としたインフルエンザ阻害能を有する糖修飾ペプチ
ドの作用メカニズム解析」

藤原 由梨奈【慶応義塾大学】 審査対象者

●14:08-14:11 「糖鎖プライマー法で得られたオリゴ糖を固定化した糖修飾微粒子による
インフルエンザウイルスの簡易検出」

河野 里砂【慶応義塾大学】 審査対象者

●14:11-14:14 「インフルエンザウイルスの高感度検出を目指した糖鎖修飾ダイヤモンド
電極の開発」

加藤 颯【慶應義塾大学】 審査対象者

●14:14-14:17 「ボルナ病ウイルスのヌクレオプロテインのアイソフォームの発現および
性状の解析」

小嶋 将平【京都大学ウイルス・再生医科学研究所】 審査対象者

●14:17-14:20 「SFTSV/HRTV NSs の V21/L23 は IFN 抑制効果に必須である」

森山 美優【東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター】 審査対象者

●14:20-14:23 「インフルエンザウイルスの増殖における宿主因子 NUP93 の機能解析」

古澤 夢梨【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●14:23-14:26「A 型インフルエンザウイルスの H5 亜型の HA 蛋白質を認識するヒトモノク

ローナル抗体の性状解析」

奥田 萌【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●14:26-14:29 「H3N2 亜型のヒトインフルエンザウイルスの HA 蛋白質を認識するヒト

モノクローナル抗体の性状解析」

呉 唯意【東京大学医科学研究所】 審査対象者

●14:29-15:30 ポスター閲覧 & Coffee Break

●インフルエンザウイルスのゲノムパッケージング機構・ウイルス蛋白質の機能解析●

座長：藤井 豊／香川大学

●15:30-15:45 「蛍光 in situ hybridization によるインフルエンザウイルスゲノム分節末端

領域のアクセシビリティ評価」

百瀬 文隆【北里大学】

●15:45-16:00 「インフルエンザウイルスのゲノム RNA 分節間インタラクトーム解析」

宮本 翔【京都大学ウイルス・再生医科学研究所 微細構造】 審査対象者

●16:00-16:15 「インフルエンザウイルスのゲノム複製忠実度を制御するポリメラーゼ機能部位の同定」

内藤 忠相【川崎医科大学】

●16:15-16:30 「原子間力顕微鏡を用いた A 型インフルエンザウイルス NS1 の二本鎖 RNA に対する結合機構の解析」

中野 雅博【京都大学ウイルス・再生医科学研究所 微細構造】

●16:30-16:40 Coffee Break

●ウイルスタンパク質の計算科学的解析●

座長：五十嵐 学／北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

●16:40-16:55 「ウイルスタンパク質を指向したタンパク質の効率的構造変化経路探索法の開発とその応用」

常盤 広明【立教大学】

●16:55-17:10 「イヌジステンパーウイルスの株間の感染性の違いに着目した新規 *in silico* 手法によるウイルス H と動物 SLAM の相互作用解析」

松尾 直也【立教大学】 審査対象者

●17:10-17:25 「ヘマグルチニンの糖鎖受容体結合部位に挿入されるシアル酸模倣ペプチド
の計算機支援による設計」

松原 輝彦【慶応義塾大学】

●17:25-17:45

河岡 義裕【東京大学医科学研究所】

●17:45 集合写真撮影／審査用紙回収

●18:15 合同懇談会（2F：オルキス）

Wednesday / January 17

●季節性インフルエンザ流行株の性状解析・耐性株の新規検出法●

座長：山下 誠／東京大学医科学研究所

●9:15-9:30 「シアリダーゼ活性の蛍光イメージング剤を用いた薬剤耐性インフルエンザウイルスの検出分離法」

紅林 佑希【静岡県立大学】

●9:30-9:45「2016/17 シーズンに流行したAH3型インフルエンザウイルスの遺伝子多様性」

川上 千春【横浜市衛生研究所】

●9:45-10:00 「季節性インフルエンザにおける腸管感染の可能性についての検討」

廣瀬 亮平【京都府立医科大学】

●10:00-10:15 「発育鶏卵における臨床検体からのインフルエンザウイルス分離」

高下 恵美【国立感染症研究所】

●10:15-10:25 Coffee Break

●ウイルス感染と宿主応答の分子基盤Ⅱ●

座長：福山 聡／東京大学医科学研究所

●10:25-10:40 「狂犬病ウイルスのインターフェロン・アンタゴニスト P 蛋白質は、神経細胞の「抗ウイルス状態」を解除する」

伊藤 直人【岐阜大学】

●10:40-10:55 「Structural Elucidation of the Rabies Virus P protein-STAT1 interface:The Molecular Basis for Immune Evasion」

Gregory W Moseley【Monash University, Australia】

●10:55-11:10 「IFN 受容体を介したセンダイウイルス C 蛋白質による IFN シグナル伝達阻害機構の解明」

小田 康祐【広島大学】

●11:10-11:25 「センダイウイルス感染における細胞死の制御」

入江 崇【広島大学】

●11:25-11:45 受賞者発表 & Closing Remarks／河岡 義裕【東京大学医科学研究所】